2024年・2025年度 ドイツ会 第3回 総会 報告書

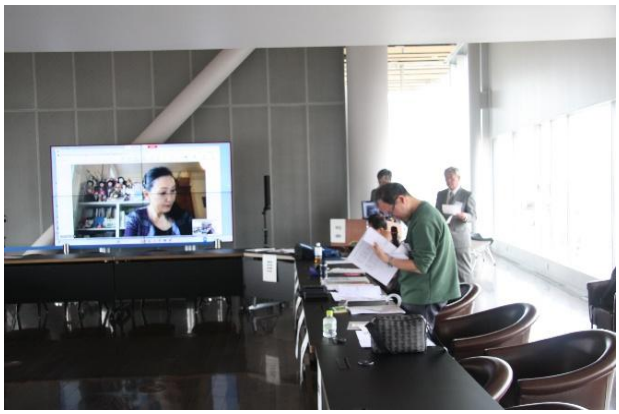
開催日時： **2026年4月26日**（日） 14時～17時

場　　所： 京都外国語大学 4号館6階 国際会議室
※ 懇親会は同館 6 階 迎賓スペースにて開催

「第3回ドイツ会総会」が4月26日（日）に開催されました。当日時点の総会員数90名、本人出席者17名、委任状提出者 39名、合計56名を以て過半数の定足数に達し、本総会は有効に成立いたしました。

定刻の 14 時になり、司会者 金子哲太顧問補佐 の「開会の辞」により『2024年度・2025年度第3回「ドイツ会」総会』が開会されました。藏野会長の挨拶の中、桑形広司氏（1976 年卒）のお誘いによりこの度入会を果たされた山田幸彦氏（1979年卒）と足利栄治氏（1981年）のお二人の新入会員が紹介されました。続いて本学のドイツ語学科を1991 年に卒業された坪井環希子さん(フランス グルノーブル在住) に、「総会」としては初めて海外より**リモート参加**をして頂きました。





【坪井環希子さん(フランス グルノーブル在住)のご挨拶】

『こんにちは、こちらは、「おはようございます」です。フランスはサマータイムになり、午前7時となります。本日はお誘いをいただきありがとうございました。フランスのアルプスの山の中にあるグルノーブルという街に住んでいます。1968年冬季オリンピックがあったことで、ご存知の方もあるかも知れません。ドイツのミュンヘンに5年ほど住んでから、ご縁がありグルノーブルに住んでから早いもので25年になりました。2年前に、外大で卒業生のミニ講演会では「ヨーロッパ議会選挙を通してみえること」を講演させていただき久しぶりに外大にお邪魔いたしました。また同じく、2年前に京都外大校友会ヨーロッパ支部30周年総会がパリで行われ、参加させていただきました。外大からは学長や、校友会の会長などもお迎えしての集まりになりました。ヨーロッパには多くの卒業生がいらっしゃり、フィンランド、ドイツ、フランス、スイス、スペイン、イギリスと色々なところで活躍されている方々との交流をさせていただき、卒業間もない若い方々には、先輩方のお話を聞かせていただけるのは将来を悩む後輩の皆さんの励みになることと思います。私も先輩方のお話を聞かせていただきながら、たくさんの励みになりました。私の仕事は、日本語教師と日本文化講座講師、フランス人グループをお連れして日本旅行をしながら日仏をつなぐ仕事（これまでのフランスにおける日本語教育の推進と国際友好親善が評価され「令和4年度外務大臣表彰」を受賞）に励んでいます。フランスとドイツはヨーロッパ連合の歴史的なリーダーであり、平和を作る重要なパートナーです。「ドイツ会」について

は、学生さんから卒業生の皆さん、先生方を含め、同じ希望を持って学んだ仲間のネットワークを繋げていくことはとても素晴らしいことだと思っています。これからもドイツ会の発展をお祈りしつつ、また皆さまとお会いできる日を楽しみにしております。』

続いて、藏野会長を議長に選出。総会は次第に則り、皆さま方の御協力によって滞りなく進められ、「報告事項」・「決議事項」の全てを可決承認し、無事閉会に至りましたことをご報告申し上げます。





総会後、15時より6階迎賓館スペースに於いて「懇親会」が開かれました。冒頭、藏野会長より総会が全て滞りなく無事に閉会したことへの謝意があり、続いて菅野顧問による挨拶と乾杯の発声により、ドイツ会の今後ますますの発展と会員の皆さま方の健康を祈念しドイツビールで祝杯を酌み交わし大いに盛り上がりました。





懇親会の締めに、神屋副会長の挨拶、並びに「ドイツ会の益々の発展」と「参会者の皆様のご健勝」を祈念し、「一本締め」をもって皆さまに感謝を申し上げ散会いたしました。

2026年度の「ドイツ会」の事業計画として、京都外国語大学にて令和8年12月5日（土）に開催予定の「**第5回全日本学生ドイツ語プレゼン大会**」を後援することを予定しております。

また、2027年10月10日（日）〈**予定**〉の『**ドイツ語学科創設60周年記念式典・記念パーティ**』（仮称）、並びに《**ドイツ会設立10周年記念事業（案）**》について協議を進めて参ります。

2026年５月吉日

ドイツ会　会長　　藏野　昭夫